



宮城おおさき移住支援センター NEWS LETTER

DEC , 2025
VOL.03

おおさき暮らしを
始めた方の
今を伝える

東京日本橋「OFF TOKYO」にて移住イベントを開催いたしました！

『二地域居住×孫ターン』～自分に合った移住スタイルを発見～

東京・日本橋にて、宮城おおさき移住支援センターCU:RUS（くーらす）の移住イベントを開催しました。当時は19名の方にお申し込みをいただき、幅広い年齢層の皆さんにご参加いただきました。大崎市の魅力を関東圏の皆さんにより深く知っていただくため、実際に大崎市に移住された方をゲストにお迎えし、リアルな体験談をお話しいただきました。参加者からは「移住体験談がとても興味深かった」「大変楽しい会でした」といった感想が寄せられました。当時は大崎市の新酒や特産品も振る舞われ、地元の魅力を存分に味わっていただけたひとときとなりました。

また、「大崎市でのオーダーメイド移住体験会」にお申し込みいただいた方もおり、つながりがさらに深まっています。今後もこのような機会を通して、関東圏の皆さんに大崎市の魅力を発信してまいります！



支援情報！



創業支援事業をご存じですか？

大崎市では国から認定を受けた、大崎市創業支援等事業計画に基づき創業支援を行っています。

大崎市、連携創業支援事業者をはじめとしたネットワークが、「新しくお店を開業したい」、「自分の技術を活かしてベンチャーを立ち上げたい」といった起業を目指す人、起業後間もない人を、窓口相談、創業スクール開催などを通じて、継続的にサポートしています。創業を考えている人は、気軽に相談してください。

大崎市産業商工課内に、各種公的支援制度の紹介、専門的な支援機関への案内などを行うワンストップ窓口を設置しています。相談は隨時受け付けします。

連携創業支援事業者

- 古川商工会議所 (☎ 0229-24-0055)
- 大崎商工会 (☎ 0229-52-2272)
- 玉造商工会 (☎ 0229-72-0027)
- 古川信用組合 (☎ 0229-22-1069)
- 一般社団法人おおさき産業推進機構 (☎ 0229-25-7130)

お問い合わせ
大崎市産業商工課



宮城おおさき移住支援センター CU:RUS(くーらす)の役割

宮城おおさき移住支援センターCU:RUS(くーらす)は、宮城県大崎市への移住をサポートする窓口です。移住に関するご相談を随時受け付けています。



●移住前・移住後のサポート

住まい探しや支援策の紹介、地域情報の提供などあらゆるサポートをしています。移住後のお困りごともお気軽にご相談ください。

●移住体験会の開催

大崎市の暮らしや雰囲気・環境などを知ることができます。企画型（まち歩き・空き家見学等）とオーダーメイド型で“おおさき暮らし”を体験しましょう。

●いろいろな相談方法があります

電話・メール・LINE・対面・オンラインで受付中！

大崎市空き家バンク
空き家登録募集中

空き家は時間が経つにつれて老朽化が進み、管理が難しくなります。手遅れになる前にぜひ対策を講じましょう。大崎市空き家バンクでは、市内の空き家物件の登録を募集しています。空き家の売却や賃貸をお考えの方はぜひ一度、宮城おおさき移住支援センターCU:RUSまでご相談ください。





みうら こうすけ
三浦 弘祐 さん

大崎市松山地域出身
2025年2月に大阪府からUターン

大阪府でフリーランスのWebプログラマーとして働いていたものの、人生の転機により大崎市へUターン。
祖父が残してくれていた畠を活用して来春新規就農する予定。

都会を離れて見えた“豊かさ”のかたち

大崎市松山地域出身の三浦弘祐さんは、大阪でWebのプログラマーとして働いていました。慌ただしく過ぎる都会の暮らしの中で、いつしか自分の生き方に疑問を抱くようになっていたところプライベートでも転機が訪れ、地元大崎市松山地域に戻ることを決意しました。

大阪という都会的な場所に住んでみて感じたことは、地元の松山では山があり、畠があり、米を作っている場所があるのが当たり前だったことに気付かなかつたということでした。

大阪で皆がバリバリ働き、忙しそうにしているのを見て、「田舎でゆっくり暮らすのも悪くない」と思ったことが、戻ってきた理由の一つということでした。実際に松山に帰ってきて生活をしてみると、人生の体感時間が大阪に住んでいたころより1.5倍ほど長くなったように感じられ、豊かな生活を送っていると話してくれました。

幼いころは祖父の畠仕事にあまり興味を持てなかつたそうですが、都会での生活を通して食や自然への意識が変わつたといいます。「松山に帰つて来て実家の畠を思い出して少し整備してみたら、思いのほか楽しくて。祖父の残してくれた畠で自分でも農業をやってみようと思いました」と新たに農業を始めるこつを決意したそうです。

農業に“希望”を取り戻す畠づくり

三浦さんは今、新規就農に向けて研修や知人の農家さんのお手伝いをしながら準備を進めている最中です。

今後は「農業は稼げない」というイメージを変え、若者が農業に挑戦できる環境をつくりたいと考えているそうです。将来的には、個人ではなく仲間と協力し、ブランド化や会社経営も視野に入れているとのこと。

無農薬にこだわりすぎず、安心して食べられる有機栽培の野菜を多くの人に届けることを目指していると話してくれました。

おじいさんから受け継いだ畠の収穫など、日々の活動の様は、こちらのSNSで発信する予定です。



TikTok

Instagram

こうちゃん農園



発行：宮城おおさき移住支援センターCU:RUS（くーらす）

運営:NPO法人おおさき地域創造研究会（大崎市業務受託団体）

宮城県大崎市古川米倉字屋敷42-1 9:00~17:00 土日祝休

0229-25-4493 info@osaki-ijyu-support.jp

